

28. 有田町棚田保全協議会

棚田名	山谷地区の棚田
所在地	佐賀県西松浦郡有田町
百選等の認可	棚田百選<岳の棚田>
棚田の概要	面積：286ha 耕作放棄地：82ha
保全団体	有田町棚田保全協議会
設立年	1998年（平成20年）
沿革	平成20年7月、佐賀県と有田町とその関係機関、及びJA伊万里、地元自治区などからなる「有田町棚田保全協議会」を設立。事務局をNPO法人有田町どっこむが担当する
代表者	会長 空閑尊一
連絡窓口	事務局：NPO法人有田町どっこむ TEL：0955-41-1517 メール：post@aritamachi.com 〒844-0018 佐賀県西松浦郡有田町本町丙972-32
会員	主要構成メンバー：16関係団体
主要メンバー	県伊万里農林事務所、有田町、有田町農業委員会、JA伊万里、地元自治区、有田町どっこむ
拠点施設等	有田一番館2階（有田町どっこむ事務所内）
ポリシー 又は活動の方向性	棚田オーナー制については、地域の活性化と棚田保全を継続させるために引き続き実施を進める。その上で今後は、①棚田米などを活用した特長のある農産加工品の開発により、インターネットや消費地での販売を想定したり、②農家民宿・農業体験プログラム（グリーンツーリズム）を開発し、観光事業者（旅行代理店）と協働しながら進めていくこと、③担い手づくり（営農者支援）により後継者育成を進めていくように努める
活動状況	
運営資金	
広報ツール	
協力者	NPO法人有田町どっこむ、岳信太郎棚田会、有田町棚田保全活動支援センター
市民交流制度（オーナー制度など）	オーナー制度 オーナー数：20組 年会費：3万円、棚田米30kgと地元農産物を渡す。 ・農業体験4回：田植え（6月）、草取り・草刈（7月）、稲刈り（10月）、脱穀（10月） ・自主参加作業：種まき・稲作り（5月） 民泊：農業体験プログラム受入れ農家 50軒
棚田米販売	岳特別栽培組合の「夢しずく」30kg 普通米1万円、特別栽培米1.3万円、無農薬栽培米1.5万円
特産品開発	有田棚田雑穀パン（黒米ともち麦のパン）
直売所	直売ではないが、「Jajaの森」や提携先の小売店等にて販売
定期的イベント	田植え前夜にオーナー会員・トラスト会員との交流会、岳の棚田フォトコンテスト
地域の状況	
直接支払の状況	
地域おこしグループ等	・岳信太郎棚田会、岳特別栽培組合、棚田の学校、あじさい村、ゆうきの会 ・有田町棚田保全活動支援センター（棚田の担い手・後継者育成）
後継者対策	
I・U・J・Oターン	受入れ可（農業塾「棚田の学校」での米づくりの実習が可能）
ボランティア受入	
行政の支援	有田町役場農林課 TEL：0955-46-5613
備考	第5回石井進記念棚田学会賞（平成20年度） 第2回棚田サミット開催（棚田・未来を耕す～都市と長生の中で～）平成8年 H18年、県から有田町内の棚田保全について「NPO法人有田町どっこむ」に活動支援の相談がきたことを契機に同年末、広範囲に渡る町内の棚田の中から活動エリアを設定するために県と相談のうえ山谷地区（岳地区を含む6地区）を対象とした。H19年から支援を開始し、地区全体で会合・勉強会を実施しながら支援計画づくりを行ってきた。